



CableIQ™

Qualification Tester

スタート・ガイド

PN 2113427 (Japanese)

January 2005, Rev. 3 9/2018

© 2005, 2007, 2015, 2018 Fluke Corporation

All product names are trademarks of their respective companies.

限度付き保証および責任限度

ご購入後 1 年間、ここで特に明記していない限り、フルーク・ネットワークスの本体各製品の材料および製造工程には欠陥が無いことを保証します。CableIQ ワイヤーマップ・アダプターの保証期間も、購入日から一年間です。部品、アクセサリ、製品の修理、および点検に関する保証期間は、特に明記していない限り 90 日間です。ニッカド、Ni-MH およびリチウムイオン・バッテリー、ケーブル、その他の周辺装置は、部品またはアクセサリとして扱われます。この保証は、事故、不注意、誤用、改造、汚染された状況下での使用、もしくは異常な操作や取り扱いによって生じた損傷については適用されません。指定販売業者が、フルーク・ネットワークスに代わって付加的な保証を与える権限はありません。

保証期間中にサービスを受けるには、最寄りのフルーク・ネットワークス認定サービス・センターにご連絡の上、返送に関する承認を得た後、問題点の説明を添えてサービス・センターに製品をご返送ください。

指定販売業者一覧は、www.flukenetworks.com/wheretobuy にてご覧いただけます。

本保証はお客様への唯一の保証内容です。特定の目的に対する適合性など、その他の保証を明示または黙示するものではありません。フルーク・ネットワークスは、いかなる原因または理由においても、本製品の使用から生ずる特例的、間接的、偶発的、または派生的な損害または損失に対する保証の責任を負いません。

一部の国や州においては、暗黙の保証に制限を付けること、あるいは偶発的または必然的な損傷を除外したり限定したりすることを許していないため、本保証における制限および除外は、すべてのお客様に適用されるわけではありません。

4/15-CIQ

フルーク・ネットワークス
PO Box 777

ワシントン州エベレット 98206-0777

米国

CableIQ™ Qualification Tester

スタートガイドの利用

このガイドには、テスターをすぐに利用するための基本的な情報が記載されています。より詳しい情報については、フルーク・ネットワークスの Web サイトに収録されている「CableIQ 配線検証テスター ユーザーズ・マニュアル」を参照してください。

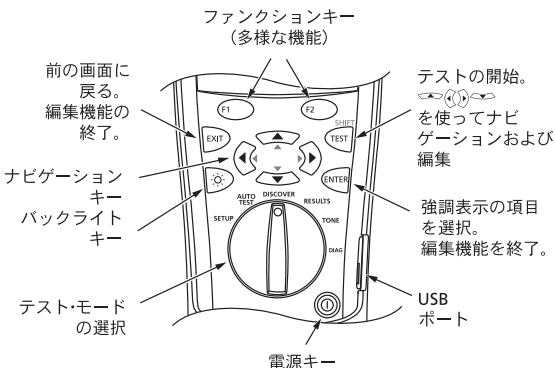
⚠ 安全に関する情報

⚠ 警告 ⚠

火災、感電、人身事故を避けるため、次のことを厳守してください。

- ISDN デバイスを含む稼動している電話線の入力、システム、機器などにテスターを絶対に接続しないでください。このようなインターフェイスに存在する電圧に晒されると、テスターが破損する場合があります、とユーザーへの感電の危険性を招くおそれがあります。電源警告記号 (⚡) が表示された場合は、テスターとの接続を切断してください。
- テスターを使用する前に、安全性情報冊子をお読みください。

コントロール




ユーザー初期設定の指定



ロータリー・スイッチを **SETUP** に合わせてから、 および  を使って、設定を選択します。



- **ユーザー ジョウホウ**: この 3 行のテキストは、オートテスト結果と共に保存されます。
- **ゲンゴ / ft:m**: 表示言語を選択します。長さ測定の単位をフィートまたはメートルから選択します。
- **ジカン / ヒツケ**: オートテストに保存される時間スタンプの設定。
- **ジドウデンゲンオフ**: テスターをオンのまま維持するか、15 分間操作しなかった場合にオフにするかを選択します。


テキストの編集


キーを使って、[シヨユウシャノ ジョウホウ] および [ID ヲ ニュウリョク] 画面のテキストを編集します。



: 編集したいフィールドを選択し強調表示します。

 : カーソルを移動します。最後の文字を越えてカーソルを移動させると、文字セットの中の最初の文字を挿入できます。

 : 強調表示されている文字を変更します。

 **Ins**: 強調表示にした文字を含む文字セットにある、一番最初の文字を挿入します。

 **Del**: 強調表示されている文字を削除します。

SHIFT と  または **SHIFT** と : 文字のセットを変更します。

利用できる文字セット

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

#"!\$%&'()*+,- /:;<=>?@[\] ^ _ ` { | } スペース

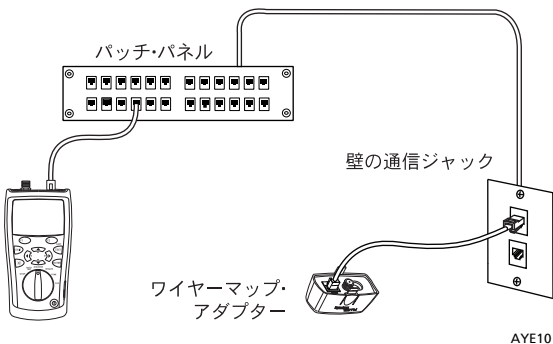
ケーブル・テストの接続

注記

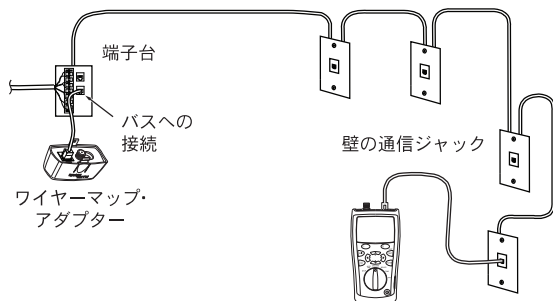
ワイヤーマップを完全に検証するには、ワイヤーマップ・アダプターまたはリモート ID ロケータを、ケーブルの終端に接続してください。

自動テスト中に近端または遠端でパッチ・コードを使用する場合は、2 m 以上のパッチ・コードを使用することをお勧めします。

データ・リンクへの接続



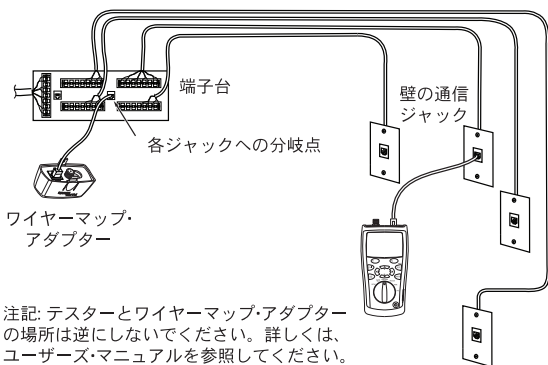
バス型配線への接続



注記: テスターとワイヤーマップ・アダプター
の場所は逆でも構いません。

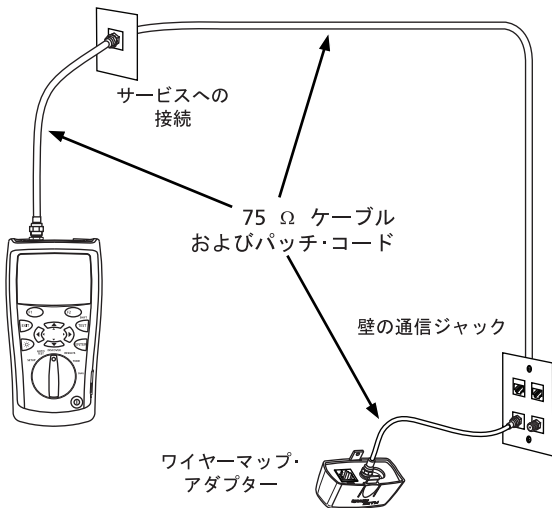
AYE13

スター型配線への接続



AYE12













同軸ケーブルへの接続



AYE34

結果アイコン

次のアイコンは、オートテストおよび検出画面に表示されます。

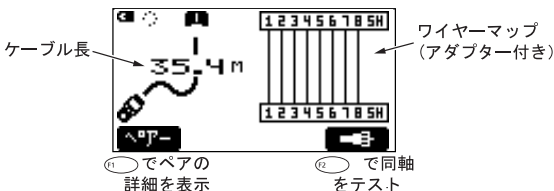
	ケーブルは、このアプリケーションにて検証されました。
	ケーブルは、このアプリケーションでの検証に適合しません。
	結果は、情報の提供のみで、検証用ではありません。ワイヤーマップの結果が不完全であるため(ワイヤーマップ・アダプターが使用されていない)、このケーブルに対するアプリケーションの検証が完全にできません。
	ペアーが開放されています。
	ペアーが短絡しています。
	遠端にあるワイヤーマップ・アダプターまたはリモート ID ロケータとその番号を示します。
	分岐点の検出。
	ハブ、スイッチ、PC NIC カードの検出。ポートの速度は、10、100、1000 Mb/s です。
	電圧の検出。通常、稼動している電話回線、ISDN 線、PoE デバイスを示します。
	テスターが稼動している電話回線に接続されています。
	ペアーに信号が存在します。
	テスターが終端を識別できません。

ケーブルの接続状態を検出

Discover (検出) モードを使用すると、ワイヤーマップの確認、ケーブル長の測定、ケーブルがネットワーク・ポート、ビデオ機器、または電話に接続されているかどうかの検証を行うことが可能です。

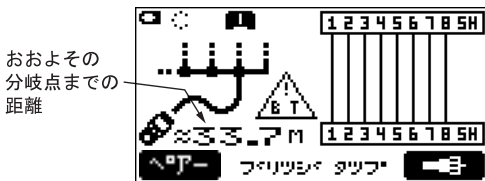
ロータリー・スイッチを **DISCOVER** に合わせてから、ワイヤーマップを調べる際には遠端にワイヤーマップ・アダプターを付けて、またそれ以外の際には付けずに、対撚り線または 75 Ω 同軸ケーブルに接続します。検出モードの結果は保存できません。

対撚り線ケーブルの検出モード



AYE46

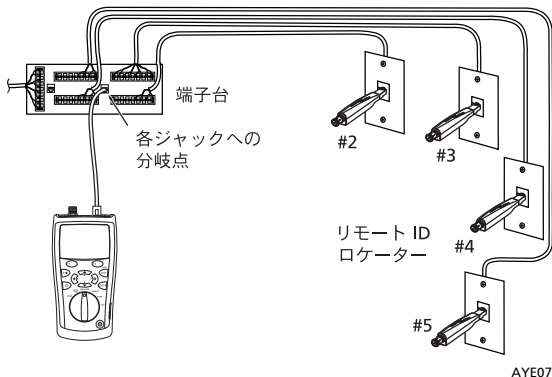
分岐点の検出モード



AYE49

MultiMap を使った検出モード

スターまたはバス型配線で接続されている複数の電話回線のワイヤーマップを検証します。



オートテスト使ったケーブルの検証

オートテストを使うと、ケーブルが選択したアプリケーションをサポートしているかを確認できます。オートテストの結果は保存できます。

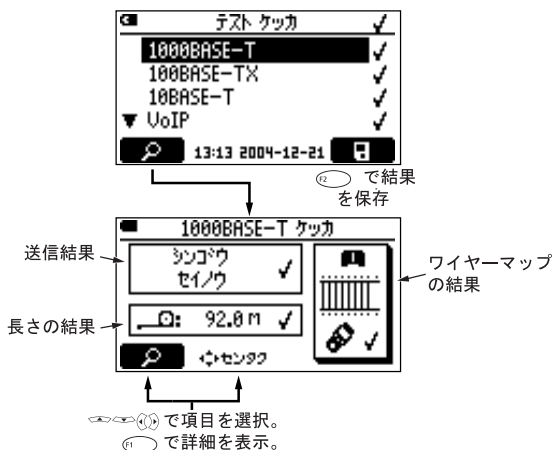
3 ページと 4 ページのようにケーブル配線に接続します。ロータリー・スイッチを **AUTOTEST** (自動テスト) に合わせます。テストとテストするペアーを選択するには、**F1 Setup** (セットアップ) を押します。テストを開始するには、**TEST** を押します。

注記

オートテストは、複数のリモート ID ロケーターの使用をサポートしていません (MultiMap 機能)。

テストを保存するには、**F2** **SAVE** を押します。[**ゲンバメイ**]、[**バショ**]、[**アウトレット**] の名前を入力して、結果を識別できます。[**アウトレット**] 文字列の最後の文字は、オートテストを保存するたびに増えていきます。

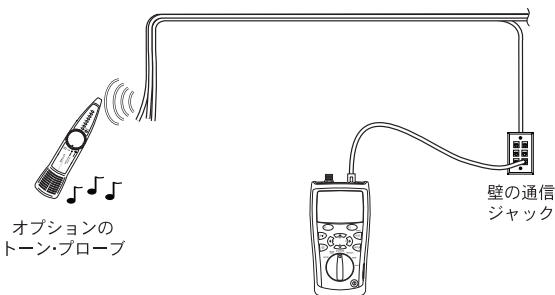
対燃り線ケーブルのオートテスト結果



AYE14

トナーの使用

ロータリー・スイッチを **TONE** に合わせ、トーン機能を選択します。2 種類の IntelliTone™ 機能が、Fluke Networks の IntelliTone プロブで利用できます。他の 4 つのアナログ・トーンは、ほとんどのトーン・プロブによって検出できます。



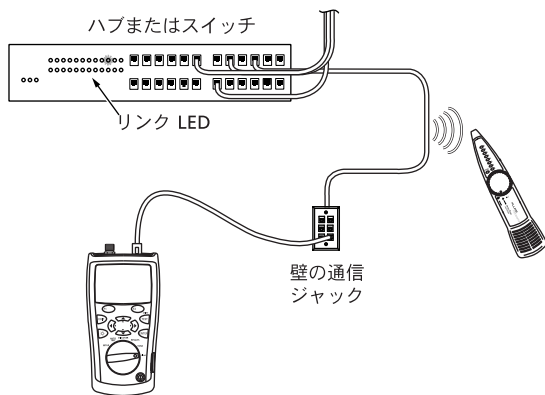
AYE06

リンク LED の点滅

[リンク LED ノ テンメツ] 機能を使うと、ネットワークのハブやスイッチでケーブルがどのポートに接続されているかを確認することができます。

テスターのアナログ・トナー機能は、リンク LED 機能を利用しているときにもアクティブになります。

ロータリー・スイッチを **DIAG** に合わせ、[リンク LED ノ テンメツ] を選択します。ハブまたはスイッチで、点滅する LED を確認します。



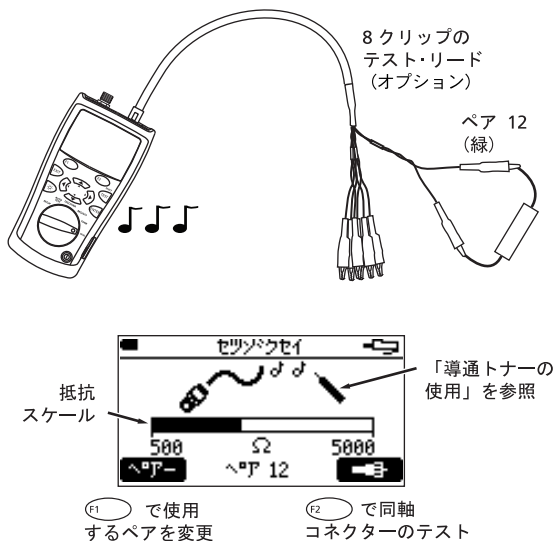
AYE05

導通のテスト

導通機能を使うと、8ピン・モジュラー・ジャックまたは同軸コネクタで、開放または短絡をテストできます。

ロータリー・スイッチを DIAG に合わせます。👁️ を使って、[セツゾクセイ]を強調表示にし、ENTER、F1 または TEST を押します。

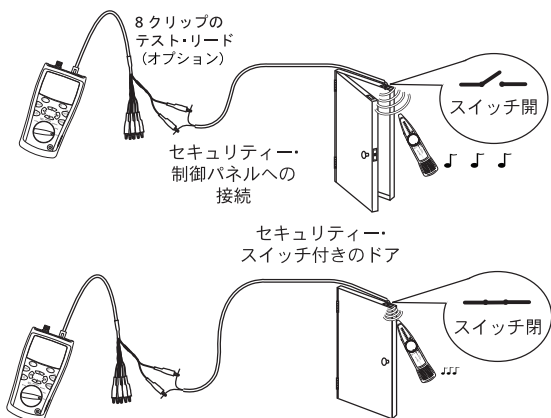
5000 Ω を超える抵抗では、テスターのビープ音は鳴りません。抵抗が下がると、ビープ音のトーンとリズムが上がります。



AYE37

導通トナーの使用

ロータリー・スイッチを **DIAG** に合わせ、[セツゾクセイ] を選択します。抵抗が下がると、ビープ音のトーンとリズムが上がります。



AYE38

クロストークおよびインピーダンス障害 の識別

[クロストーク ショウガイ ノ ケンシュツ] および [インピーダンス ショウガイ ノ ケンシュツ] 機能を使うと、対撚り線ケーブルのペアでクロストークおよびインピーダンス障害をすばやく確認できます。

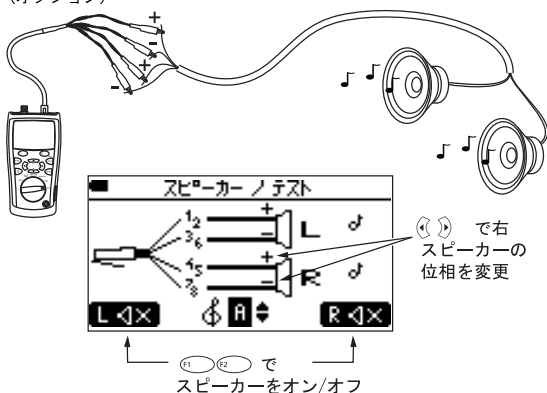
ロータリー・スイッチを **DIAG** に合わせ、[クロストーク ショウガイ ノ ケンシュツ] または [インピーダンス ショウガイ ノ ケンシュツ] を選択してから、**ENTER** または **F1** を押します。通信規格とテストするペアを選択してから、**TEST** を押します。ワイヤーマップ・アダプターまたは ID ロケータは必要ありません。

スピーカー・ケーブルのテスト

[スピーカーノテスト]は、対撚り線スピーカー・ケーブルの配線および位相をテストする、可聴音を生成します。

ロータリー・スイッチを **DIAG** に合わせ、[スピーカーノテスト]を選択します。

4 クリップの
テスト・リード
(オプション)



AYE39

4 クリップのテスト・リード配線:

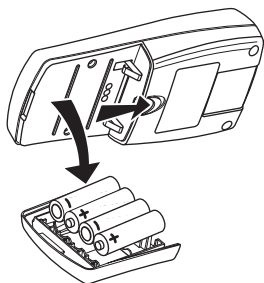
+ ペア－ 12: 緑

+ ペア－ 45: 青

- ペア－ 36: オレンジ

- ペア－ 78: 茶色

電池の交換



AXY53

黄色いケースを取り外し、電池収納部を取り外します。

単三電池 4 本
(アルカリ電池を推奨)
典型的な電池寿命は 20 時間です。

Fluke Networks への連絡先



<http://jp.flukenetworks.com/support>



infoj@fluke.com



+03-6714-3117



Fluke Networks
6920 Seaway Boulevard, MS 143F
Everett WA 98203 USA

フルーク・ネットワークスは、世界の 50 カ国以上に営業所を展開しています。お問い合わせ先については、弊社の Web サイトをご覧ください。